

二 廣報



じょうめ

発行所 秋田県五城目町役場広報課編集

電話 (01885) ② 代 2100 番

印刷所 湖 東 印 刷 所

電話 (01885) ② 2430番

一部 5 円 郵便番号 018-17

毎月 1 日・15 日発行



ミニバス大川小と五小は好ゲームを展開した。 〃 広域体育館で

広報紙中にある写真を欲しい方にはおあげします

「体育の日」にちなんで

ふだん着のスポーツを大切に

満艦飾のトレーニングウェア

十月十日「体育の日」抜けるような青空のもとで、各種スポーツ大会が行われた。PTAソフトボール、ゲートボール、全町テニス大会、ミニバスケットボールなどがそれぞれある。

各選手、色とりどりのトレーニングウェアで満艦飾の運動広場とテニスコートであつた。広域体育館ではまた、小学校の選手たちによるミニバスケットボールの熱い試合が展開されていた。

ゲートボール旋風

運動広場が整備されてから、ちよつとしたスポーツ異変がおきている。西側のコリーナが、ゲートボール専用のコート化したことである。おじいさんおばあさんたちが、入れ替り立ち替り練習をすじ。取り組みやすいためか、お年寄りたちにとって格好のスポーツになったというようだ。ゲートボール人口が年々増え続けているのをみても、そのことがよく伺われる。

今まで「老人とスポーツ」に対しては鮮明なイメージが湧いてこなかった。それがどうして「ゲートボール協会」を発足させるほどのパワーを発揮したのである。上手下手はともかく、ゲートを通過させるまでの集中力、緊張感、知らず知らずのうちに歩きまわる軽い運動がともなうので、身心におよぼす効果も想像を越えるものがあることだろう。

老後の生活を明るく健康なものにしていくなために、一人でも多くの参加を期待したい。

いつの時代も遊びとスポーツは魅力

いつの時代でも、子どものうちは、遊びやスポーツが一番の魅力である。なわとび、キャッチボールなどで空地はいつも占有されるのである。この積み重ねが運動能力を身につけ、筋肉の発達に結びついていく。子どもたちが、遊びやスポーツに熱中するのは楽しいからである。仲間が増えるからでもある。しかし子どもが成長するにつれて「スポーツ離れ」が進むといわれる。親の関心も、体育から知育に急激な移行を始め、子どもたちにとって「受験」が壁となり、スポーツを観る側にまわってしまう。

しかし、激しい動きをとまなう運動競技だけがスポーツではない。歩くこと、キャンプなど野外活動もスポーツの仲間、その内容は幅の広いものである。健康で明るい生活を送るために生活の実情に即した「ふだん着のスポーツ」を大切にしていきたいものである。

田町町政座談会

町当局と意見を交換

田町町内会の「町政座談会」は九月二十七日午後七時半から同町内の和合会館で行われた。

町当局からは加賀谷町長はじめ伊藤助役、一関民生部長、阿部運動公園事務局長、工藤町長室長心得、石井建設部長心得、伊藤管財課長が出席し、集まった約五十人の地元の人たちと町政について意見を交換した。

あいさつにたった荒川善一郎町内会長は「このような機会をもうけたのは、身近な所でひざを交えながら、町長さんたちのお話しをうかがいたいということである。どうかできるだけ詳しく、お年寄りにも分かるようにお話し願えば幸いである」と述べた。これに答えて加賀谷町長は「私はこの町内に生まれたものである。昔のよしみでなんでもお話しをしていただき、私の届かないところを教えてもらえればしあわせである」と語った。この後、町当局と意見交換を行ったがその概要は次のとおりである。

▼会館前・羽黒山横・小学校前の舗装

問：田町和合会館前、羽黒山（かじ屋）さん横、小学校前のじやり道を舗装してほしい。羽黒山さん横の道路にかかっている橋は木でできている。車も通っている橋なので検討をお願いする。また、この道は、戸村堰の改修で余った土地にそっているの、道幅を広げて、防護さくをつけてほしい。

建設部長心得：羽黒山さん横の道は、町道になっているので、なんとか四メートル以上の道幅にしたい。道幅が四メートル以上になると、自動車が簡単に入れるようになるし、除雪も可能になる。戸村堰の改修で余った土地の利用については県の方と話し合っているが、まだ結論がでていないので、なるべく早く結論を出したい。この道は以前簡

▼元米山産葉付近の排水

問：元米山産葉のところの下水があふれてこまるので、しっかりとU字溝を入れるなどの改良をお願いする。

建設部長心得：元米山産葉のところは、たまたま草刈りとかゴミの処理などを行っているが、今後もよく現地を調査して処置したい。

▼水洗トイレの設置基準

問：一般家庭でも水洗トイレをつけているが、その排水、下水道、終末処理について、町ではどのように考えているのか。また、くみ取り式という申請をだして水洗トイレにしているものもあるという話を聞いたが、どのようなことに關して、町ではどのような行政指導を考えているのか。

民生部長：建物をたてるときは建築確認が必要であり、水洗トイレにする場合は浄化槽の設置届けを出すことになっている。また、くみ取り式から水洗トイレにおおす場合は、浄化槽の設置届けを工事の十四日前に保健所へ提出して許可を受けることになっている。

現在、五城目町で水洗トイレの家庭は九八戸である。水洗トイレの設置については、保健所の方で許可をして、指導を行っている。町では水洗トイレに關して付近の住民から苦情などがあつた場合、保健所にその指導をお願いしている。ただ、水洗トイレの排水が町道の側溝に放流される場合は役場建設課、農業用水路に放流される場合は水利組合の承諾書がなければ保健所では許可しない。県ではいっさい県道側溝へ排水を放流させていない。

▼旧富津内川の管理と消火栓増設

問：旧富津内川の危険なところに転落防止のフェンスをつけたい。また、どろがたい積して草がはえているような状態なので、どろ上げをお願いしたい。

旧富津内川は天気が続くとき水位が下り防火用水の役にたたなくなる。それにこの近辺には消火栓がないので消火栓の設置をお願いする。

建設部長心得：旧富津内川は現在、排水路となっている。以前町内会長さんから

危険であると指摘されていたので、くい打って有針鉄線を張ることになっている。材料も用意してあるし、業者の方へもお願いしてある。

どろがたまつたということであるが、これも早急にあげなければいけない。ただ水路の境界内いろいろな物がおかれていて、それらを寄せて水路に物が落ちないようにしてほしい。

民生部長：田町町内には消火栓が二基、貯水槽が一基ある。その外は、旧富津内川の排水路、戸村堰の水路を使うことになるが、戸村堰の事情が大きく変わったのでその対策を検討中である。

この町内を通っている水道の本管は百ミリ管で水が十分でない関係で、消火栓はなん基あつても一基を使えば他の消火栓は使えないことになるので、現在消火栓の増設は考えていない。

ただし、今後上水道の第五次拡張計画工事があるので、水量が豊富になれば、その時点で増設を計画したい。

▼羽黒前都市計画

問：羽黒前の区画整理事業が打ちだされてから三年以上もたつたと思う。また、地域住民との話し合いがとだえてから一年半以上にもなる。なるべく早いうちにその具体策を私たちに知らせしてほしい。

建設部長心得：羽黒前の区画整理事業は、五十三年に区画整理について関係者にビジュアルし、五十四年に平面測量を行っている。今年には関係者の同意が得られたというので、都市計画課の中に区画整理係を新設している。

区画整理は、ただ道路を通すというのではなく、道路、排水路、公園そして土地造成というような総合的な工事であるので、そうとうの資金を必要とする。また、区画整理をやる場合に減歩というものが生じてくる。関係者の減歩をいくらかでも緩和するために、国庫補助を受けることを検討中である。

国庫補助を受けるには都市計画決定した幹線道路が必要で、この街路を設定しなければならぬ。しかし、ただ線をひくだけではだめで都市計画区域全体のことを考えながら、その道路体系をつくっていくかなければならないので、現在県と折衝しているわけである。また、前の図面がちょっと古くて修正する作業を行っているので、これができしだいみなさんに集まってもらい、その街路の体系を決定してもらおうと考えている。

いづれにしても国庫補助を受けるためのいろいろな調査がまだ残っている。五十七年に換地計画や減歩など具体的なものがでてくると思う。

▼広域体育館の使用申し込み

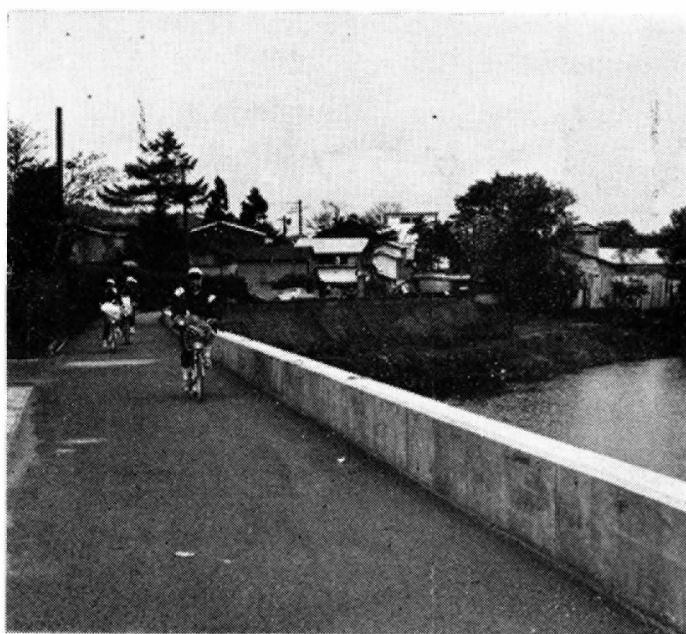
問：体育館を使用する場合、申し込みの事務を体育館内でできないか。申し込み書をもっと簡潔にすることはできないか。

年一回は無料で使用できるそうであるが、それはどのような場合に適用になるのか。

阿部事務局長：普通、建物の貸付の場合は、計算事務等があるので町民センターの事務室で処理している。ただ、運動広場、テニスコートなど野外の施設は無料で、すぐ許可できるので体育館で行っているが、もう少し利用する方；ま



区画整理事業が進められている羽黒前地区



通学路としての活用が期待される護岸道路

よわなように配慮しなければと思う。
申し込み用紙とその手続きは、条例で決められているわけで、原則は一カ月前から七日前までと決められているが、前日でも当日でもあいていれば貸し出している。電話での申し込みも受け付けている。ただ、統計をとる関係等で当日まで申し込みを書いてもらうが、あまりこのようなことを気にせずにどんどん電話で申し込んでほしい。

公共施設を使用する場合、一応手順やルールがあるが、あまりおつくりがらないで電話でいいし、地域の役場職員に頼んでもよいし積極的に活用してほしいと思う。
▼民生委員の選挙基準・活動
問：民生委員はどのようにして選ばれる、任期はあるのか。
またその活動をお聞きしたい。
民生部長：民生委員の任期は三年である。
民生委員は、町長が委嘱した十名の委員からなる推せん委員会、厚生大臣と県知事によって委嘱される。
民生委員はその身分を政治的に利用する恐れのない人で、新たに委嘱する場合は六十歳未満、再任

の場合は当町では七十歳以下と決めている。また、活動が良好であつて将来にわたって積極的に活動できる人となっている。
仕事の内容は、担当区の家計調査を行つて、生活の状態を把握しておくこと。保護を要する人には適切な指導や措置をとること。関係機関の業務に協力すること。子どもや妊産婦については、常に生活およびその環境と状態を調べ、その保護と保健に努めること。その他福祉関係で援助および指導をしていくこととなっている。

路までは届かないと思う。しかし堤防そのものについては上幅が四メートルという基準があるので、その辺を県に確認する。もし通学路として利用できるものであるならば、護岸道路とするよう県の方にお願いしたい。
▼人口問題・企業誘致
問：町の人口は減少傾向にあるが町当局の理想としている三万人確保の根拠、および可能にするための具体的な施策があったら聞かせてほしい。
地場産業を振興する、あるいは助成するということがあるが、どの程度の振興および助成がなされているのか聞かせてほしい。
企業誘致について、具体的に明示できるものがあつたら聞かせてほしい。

第三にはうるおいのある豊かな人生を送れるようなスポーツや文化活動が日常化していること等が考えられる。
第二第三については昭和四十五年に策定した町の総合開発計画の線に添って町づくりを進めてきた結果、他町村に比してそんな色がないほど整備されてきていると思う。
ご質問の企業誘致となると経済の低成長、東北地方の降雪、交通網の未整備等という関係もあり、なかなか思うように進まないのが現状である。

したがって、計算の上では三千年たてば日本の人口は約半分になるであろう。
五城目に多くの人が住みつくようになると町民センター、広域体育館、温水プール等もやっているわけである。先日秋田市の緑化推進委員会の会員たちが大ぜい来て、町民センターで総会を開いている。また今日、県庁へ行ったら、五城目という町は非常に興味のある町で、できれば住んでみたいという声があつた。一朝一夕に人口はふえないかもしれないが、自信を持って我が町をみまもってもらいたいと思う。
(町長のまともな次号で)

町へのお客様

・10月9日・12日
青森県上北町

- 青年国内研修 7人
- 社会教育施設等視察 (10日)
- 青年会員宅で農作業 (11日)
- 青年会との交流会 (11日)

▼川端の護岸工事

問：川端をすうとくして五城目木材さんのところをかつて広ヶ野に通ずる護岸工事は、測量を終つたようであるが、どのような護岸になるのか。通学路として利用できないものだろうか。

建設部長心得：工事は県でやっており、護岸堤防ということになっている。
この護岸工事は合流点までということになっており、中学校の道

町長室長心得：私の担当している範囲内でお答えする。
当町の人口は昭和三十五年の二〇、二五五人から昭和五十年には一六、五八二人と減少したが、最近五カ年間の推移をみると横ばいの状態にある。
過疎の町を繁栄させるには、企業を誘致すれば企業は若者達を雇用したり法人税や固定資産税を払ってくれるから人口流出も防げるし、町財政も豊かになるといふことも考えられるが、人口対策というものは企業を誘致すればそれで人口が増えるという決め手にはならないと思う。

人が住みそして増えてゆくような条件としては第一にそこに生活を支えるための源泉があること。
第二には快適な生活ができるような居住環境であること。

助役：人口問題について一言お話ししたい。
日本の現在の人口を維持するには、一夫婦で二・一人子どもを生まなければいけない。〇・一人は事故などで死亡する数をみているのである。
今の若い夫婦は、統計上一・七九人しか子どもを生んでいない。

Smokin' Clean

吸いがらは必ず消してから灰皿に



ちょっとした心づかいも味のうち



第一回 総合産業祭を旧五城目小学校で開催

グラフ 五城目町の今昔



昭辰町付近

明治36年以来的の大洪水といわれた(30・6・25)



第一回秋田県森山登山競技会(32・11・3)

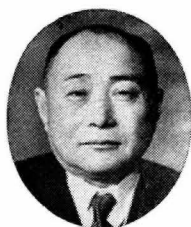
岡本側から道なき道をかけ登る

二町政史 三十五年のあゆみ

新五城目町 スタート

昭和三十年

三月三十一日 新五城目町発足。
旧五城目町・馬場目村・富津内村
内川村・大川村を合併、人口一万
九千五百三十六人。世帯数三千二百八
五面積二一〇・二平方キロ。
町長職務執行者児玉孫左エ門氏
助役事務取扱者北島金森氏、収入
役事務取扱者土田蔵太郎氏を選任
四月十一日 初議会招集
初代町議会議長に畠山松太郎氏
副議長に伊藤尚三氏。
四月三十日 町長選挙執行。
初代町長に菊地米蔵氏当選。
菊地 米蔵氏 五、三三四票



加賀谷力司氏 三、九五五票
五月二十八日 二人の助役を選任
初代助役に北島金森氏、小林源
四郎氏を選任。
五月二十九日 収入役を選任
初代収入役に土田蔵太郎氏選任
六月二十五日 大洪水発生。
明治三十六年来の大洪水発生。
被害総額一億五千万円(三十年度
一般会計予算額一億二千三百万)
・降水量 二五〇ミリ
・馬場目川増水最高三・六呎
・り災世帯 七五八

・り災者数 三、四〇六人
・昭辰町内り災者「宗延寺」に避難
七月二十三日
昭和三十年産米政府買入価格決
定。石当り九千七百五十五円。

八月二十六日
五城目中学校と富津内中学校西
学区の統合決定。

九月十日
五城目町民生委員協議会発足。

十月二十五日 国勢調査実施
・人口 一万九千七百〇一人
・世帯数 三千三百六

十一月三日
第一回総合産業祭を五城目小学
校で開催。

十二月二十六日 大川本村大火
午後十一時五十分ころ出火、住
家十一棟、非住家四棟全焼、午前
一時三十分鎮火。二百五十俵の保
有米灰と化す。

昭和三十一年
二月二十二日
館町公営住宅二十棟完成。

三月十二日
昭和三十一年度当初予算決定
一般会計九千九〇二万円。

三月二十一日 町議・教委選挙
町議会議員二十六名、教育委員
四名の選挙を行う。町議は小選挙
区。有権者数四千七百九十六、投票率
九四・四、二十六の議席を四十九名
で戦う。

四月一日
国民健康保険制度全町に実施。

昭和50年以降に
― 設建された町の施設



運動公園整備の本格的な取り組みにこの町民センターと広域体育館の建設がスタートになった。

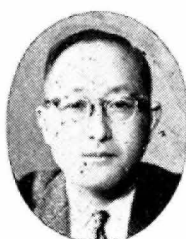
利用者数 182,506人 (55年8月末日現在)



田園環境の中で都市的な機能を備えたセンターと体育館は利用する人々の生活感を少しずつ変えている。

利用者数 357,142人 (55年8月末日現在)

- 四月四日 議会議長に加賀谷氏・単記無記名投票、加賀谷力司氏十二票、畠山松太郎氏十二票、無効一票、白票一票。公職選挙法第九十五条二項により抽選の結果、加賀谷氏初代議長に当選。副議長に猿田忠三郎氏が就任する。
- 四月十四日 教育委員長に伊藤真一郎氏、副委員長長石井寛氏決まる。
- 五月十八日 杉沢小学校独立校舎開校
- 五月三十日 五城目町家畜管理所・食肉処理加工所竣工。
- 六月二十日 昭和三十一年産米政府買入価格決定。石当り九千四七〇円。
- 九月二十六日 各地区の農業委員会を統合。
- 九月三十日 岡本・野田・浦横町の三部落編入合併を議決。
- 十一月十三日 五城目町・五城目地区消防団の統合議決。
- 十二月十三日 五城目統合中学校建設工事施行を議決。
- 昭和三十二年 一月二十二日 五城目地区合併(大川・面湯)推進委員会を設置。
- 三月三十日 地方財政再建特別措置法の適用団体に指定される。
- 四月十日 五城目第一中学校第一期工事着工(総工費一・四五〇万円)
- 四月十四日 大川分町賛否投票
- 大川本村分町賛否投票行う。
- タイトルは「町の境界変更住民投票」であった。この分町をめぐる五城目・八郎潟の両町は百日間の攻防をくりひろげた。県調整委員
- 四月四日 議会議長に加賀谷氏・単記無記名投票、加賀谷力司氏十二票、畠山松太郎氏十二票、無効一票、白票一票。公職選挙法第九十五条二項により抽選の結果、加賀谷氏初代議長に当選。副議長に猿田忠三郎氏が就任する。
- 四月十四日 教育委員長に伊藤真一郎氏、副委員長長石井寛氏決まる。
- 五月十八日 杉沢小学校独立校舎開校
- 五月三十日 五城目町家畜管理所・食肉処理加工所竣工。
- 六月二十日 昭和三十一年産米政府買入価格決定。石当り九千四七〇円。
- 九月二十六日 各地区の農業委員会を統合。
- 九月三十日 岡本・野田・浦横町の三部落編入合併を議決。
- 十一月十三日 五城目町・五城目地区消防団の統合議決。
- 十二月十三日 五城目統合中学校建設工事施行を議決。
- 昭和三十二年 一月二十二日 五城目地区合併(大川・面湯)推進委員会を設置。
- 三月三十日 地方財政再建特別措置法の適用団体に指定される。
- 四月十日 五城目第一中学校第一期工事着工(総工費一・四五〇万円)
- 四月十四日 大川分町賛否投票
- 大川本村分町賛否投票行う。
- タイトルは「町の境界変更住民投票」であった。この分町をめぐる五城目・八郎潟の両町は百日間の攻防をくりひろげた。県調整委員
- 五月五日 面湯分町賛否投票行う
- 岡本・野田・浦横町の三部落が八郎潟町からの分町に、賛成かどうかの投票行う。
- 分町反対三六四票、分町賛成二八二票となり、分町はないとみられたが、不正投票があったとして自治省まで持ち込まれ、この投票は無効となった。
- 六月五日 菊地町長病氣のため辞表を提出・受理される。
- 六月十八日 町長選挙行う。
- ◎翌日開票
- 第二代町長は加賀谷力司氏。
- 当選 加賀谷力司 五、一二〇票
- 次点 北島 金森 四、八一〇票
- 六月二十九日 第三代町議会議長畠山松太郎、副議長猿田忠三郎の両氏就任。
- 七月二十日 昭和三十一年産米政府買入価格石当り、九千七四五円に決定。
- 七月十六日 五城目町農業委員会委員選挙行う。
- 十一月三日 第一回秋田県森山登山競技会を行う。



十月三十一日から

産業文化祭多彩なプログラムで

第五回五城目町産業文化祭が、十月三十一日(金)から十一月四日まで五日間の日程で行われる。農作物をはじめ各種の展示は、町民センター、広域体育館、農協会館の三会場となる。

十一月三日には、合併二十五周年記念式典が行われるなど、盛りだくさんのプログラムが組まれている。期間中の日程行事は次のとおりである。

▼10月30日(水)
・会場準備・出品物搬入
8、30
各会場

▼10月31日(金)
・出品物搬入、展示
9、00～12、00 各会場
・生活工夫展出品物審査
11、00～ 農協会館

▼11月1日(土)
・出品物審査
9、00～12、00 各会場
・褒賞者発表
12、00～ 各会場
・営農、年金等相談
9、00～16、00 農協会館

・出稼者就労前健康診断
9、00～12、00 広域体育館
・出稼者安全就労推進大会
13、00～14、00 広域体育館

・記念講演会
「秋田の産業と文化」
講師 秋田経済大学教授 井上隆明先生
14、00～15、30 広域体育館

・第3回町内対抗駅伝競走大会
9、30～12、00 運動広場
・営農年金等相談
9、00～16、00 農協会館
・お茶のつどい
9、00～16、00 町民センター

・演芸会
「五里会佐々木常雄一行」
14、30～16、30 広域体育館

待望の新校舎



建設された当時の飯田川小学校(昭和10年)

間にわたる会議で決議されたのである。敷地は旧校舎(現役場敷地)から北寄りの現在地に決定、四千六百八十坪を買収し翌年四月三日の神武天皇祭の日に地鎮祭、六月二十五日の皇太子陛下の御誕生に盛大な起工式を挙げた。

わたしは、体操場もない狭い校舎で苦勞し、広びろとした校舎を夢見ていたのと、建築に興味を持っていたので、一週二日くらいは、必ず現場を見に行った。当時設計と工事を監督していた長山栄蔵さんとは、親しくなっていた。その状況を教えてもらった。

石井さん地球儀と

天球儀を寄付

石井誠太郎さん(上町)は、拾得物のお礼にいただいた地球儀と天球儀(三万円相当)を町の教育委員会へ寄付した。

教育委員会ではさっそく五城目小学校へ届け、教材として使ってもらっている。

この地球儀は、九月八日、馬場目帝釈寺で男鹿市の会社員が、配達中におとした本や美術工芸品のお礼にいただいたものである。

▼11月4日(火)
・褒賞授与式・祝賀会
13、00～16、00 広域体育館

▼11月5日(水)
・出品物搬出・会場整理
8、30～16、30 各会場

里いもに花が咲いた ～上山内～

上山内の金子祐吉さんの畑で里いもの花が咲いた。この花は、長さ20センチくらいの黄色い一枚の花弁のようなもので、中に白っぽい芯がある。花が咲いたのは10株以上もあり、畑の世話をしているハキノさんは「80年も生きてきたが、始めて里いもの花を見ました」と驚いていた。

里いもの花と金子ハキノさん



わたしの教員生活 ⑦

わたしが初めて赴任した飯田川小学校は、建築以来四十余年を経過した木造平家建て、屋内体操場(体育館)のない危険校舎であった。十数年前から改築の声はあ

ったが、位置の問題でなかなか困難をきわめ、のびのびになっていった。

昭和九年十二月に、改築議案が村議会に提出され、慎重審議二日

の状況を教えてもらった。まず、敷地買収費は、校地・道路の盛り立費を入れて一三、二四五円・校舎建築費が五五、七四四円・その他設計および監督費一、六四七円・雑工事費一、九三三円合計金額七五、一六五円で建設された校舎で、土崎港の武田組の請負で建設され、その誇りとするところは、嘘飾をさげ堅牢を主とした工事で、今なお当時そのままの姿を残している。

前年の昭和九年九月十三日に起った室戸台風は、大阪で風速四八・四級・名古屋で三二・九級と近畿地方に大きな被害をもたらした。大阪では高潮も重なって、学校等の倒壊が甚だしく、死者、ゆくえ

粗大ごみを集めます

収集場所への運搬は各自で

もえない粗大ごみの収集を行います。

収集の日程は次のとおりです。で、場所および時間をよく確かめて、定められた場所へ時間内に運搬するようお願いいたします。収集場所に運搬する場合、必ず荷札などに町内(部落)名、氏名を記入し、廃品に添付してください。処理手数料金は、その場で徴収しますから必ず持参してください。

▼処理手数料

テレビ 五〇〇円
洗濯機 二〇〇円
冷蔵庫 三〇〇円
ミシン 二〇〇円
自転車 一〇〇円
リヤカー 二〇〇円
農機具 二〇〇円
その他 二〇〇円
(テレビはPCB「有害物質」除去料を含む)

▼十月二十日(内川・面湯地区)

浅見内 午前9、00、9、30
湯ノ又小川口 湯ノ又公民館前
黒土 9、40、10、20
小倉 10、30、10、50
浦横町 11、00、11、20
岡本一区 午後1、30、2、00
岡本二区 午後2、10、2、40
岡本二区 2、50、3、20

▼十月二十一日(富津内地区)

野田 3、30、4、00
高樋 午前9、10、9、25
北村 9、30、9、45
落合 9、50、10、10
千日 10、20、10、30
高田 10、35、10、50
協村 11、00、11、15
乙市 11、20、11、30
台・御蔵下 午後1、30、1、45
長面 1、50、2、00
八田 2、05、2、20
富田 2、30、2、45
富田 2、50、3、00
上山内 3、10、3、30
下山内 3、45、4、00
十月二十二日(馬場目地区)
北ノ又虹喰 午前9、00、9、15
落合 金沢康太郎様宅前
杉沢 9、25、9、40
杉沢診療所前

▼十月二十三日(馬川地区)

坊井地 9、50、10、10
恋地上 10、20、10、30
中 10、35、10、45
水沢 11、15、11、30
平ノ下 1、35、1、45
中村 1、50、2、05
寺庭 2、10、2、20
蓬内台 2、30、2、45
門前 2、50、3、00
町村 3、10、3、25
帝釈寺 3、30、3、50
久保 午前9、00、9、20
高崎上 9、30、9、50
中 10、00、10、20
中 10、30、10、50
下 11、00、11、20
上樋口 午後1、20、1、50
岩城町 老人ホーム前
樋口・中川原 2、00、2、20
二田農機工場前 2、30、3、00

▼十月二十四日(大川地区)

館町 児童館入口 3、10、3、40
大川 午前9、00、9、30
浅野理容店前 9、40、10、10
木村喜之様宅前 10、20、10、50
大川出張所前 11、00、11、30
下樋口 午後1、30、1、50
石崎・四ツ屋 2、00、2、30
西野 2、40、3、10
谷地中 3、20、3、50
希望ヶ丘 午前9、00、9、20
川村商店前 9、30、9、50
佐々木菓子店前 10、00、10、20
福田製材所前 10、30、10、50
電報電話局前 11、00、11、20
神明社前 11、30、11、50
坂谷商店前 午後1、00、1、20
菊地製材所跡 1、30、1、50
新町 1、30、1、50
仲よし 2、00、2、20
保育園前 2、30、2、50
本間商店前 3、00、3、20

有利な国の融資制度 ⑧ 農林漁業金融公庫資金

前号に引き続き、有利な国の融資制度「農林漁業金融公庫資金」について紹介いたします。

土地改良資金

農業の生産力の増大と生産性の向上をはかるため、土地条件および水利施設の整備開発を行う圃場条件整備、その前提となるかんがい排水施設の整備、農道の整備、農地ならびに草地の開発整備などの事業を土地改良長期計画にもとづいて推進するための資金です。

自作農維持資金

和牛導入農家に援助

農家が和牛を購入する場合、その利息を町と国が負担します。五十五年度和牛導入予定頭数にまだ五頭分余裕がありますので、導入を希望する農家は十月三十一日までに農業協同組合に申し込んでください。

援助を受けることができる人は次のとおりです。

・稲作農家の複合経営として、繁殖和牛を長期的かつ増頭計画をもって飼育するもの(五年後におおむね七頭以上)

・五城目町和牛組合に加入し、和牛飼育農家がお互いに連帯性をもって本町畜産振興に努めるもの。

※和牛の導入方法、管理義務など詳しいことは、役場産業課へお問い合わせください。

農業者が共同相続、疾病、災害などのため、農地を売却し、経営を細分化することを防ぐための資金です。

また、経営作目の転換、経営の合理化などにより、農業経営の再建整備をはかるうとする専業的農業者に対して、再建整備の阻害になっている既存債務の整理や、経営の再建整備に必要な資金を貸付けします。

このほかに、林業資金として林業経営改善資金、造林資金、林道資金などがあります。

今回まで、資金の内容をかいつまんで紹介してきましたが、具体的な借入れ手順については次号でお知らせします。

中小家畜の飼育に助成

町では「豚」「やぎ」「めん羊」および「にわとり」を飼育しようとしている人に助成金をさしあげます。

・対象者 町内に居住する農業者(ただし、60歳以上のお年寄り小中学生が飼育する場合は優先する)

申請の方法

役場産業課にある申請書に所定の事項を記入して農業協同組合に提出する

・申請期限 10月31日

飼育する家畜の助成金額は次のとおりです。

・豚 一頭当り 四千元
・やぎ 一頭当り 六千元
・めん羊 一頭当り 二万三千元
・にわとり(鶏舎の資材費として助成金を交付) 五千元
10羽以上20羽未満 七千五百円
20羽以上30羽未満 七千五百円
30羽以上 一万円

体育の日スポーツ大会

大川小バミニ男女とも優勝

町の教育委員会では、十月十日「体育の日」にちなんで、十月十日、十二日と二日にわたってスポーツ大会を行った。

両日とも快晴に恵まれ、各学校PTA対抗ソフトボールをはじめ六種目に参加した六百人の選手たちは、打ち、走り、汗を流しさわやかな秋の一日を楽しんだ。

各種目の成績は次のとおり。
・PTA対抗ソフトボール
参加八チーム
決勝
五一中 六二 大川小

地区対抗ゲートボール大会
決勝(男子)八チーム
馬川 34-24 大川
ダークホース馬川地区チーム優勝

女子八チーム
五城目 24-20 大川
ミニバスケット
決勝
男子四チーム
大川小 45-41 五城目小
女子五チーム
大川小 64-5 内川小
大川小学校はアベック男女優勝



ゲートボールに決っているおばあさんのスタイル

を果す。

児童野球三校六チーム
決勝
五小A 4-2 五小B

・テニス

優勝チーム
一般男子 川村、栗山組
一般女子 石井、千田組
壮年の部 安達、宮田組
ママさんの部 館岡、奈良組
初心者の部 相馬、近野組

私のインド (1)

渡辺時治



よく読まれていて、中学生(旧制)の私も二読三読し、日本の状況に心を痛めたものであった。人口と食糧のアンバランスこそ、人類社会に不幸をもたらす原因であるという主張は、少年の私の胸に突き刺さり、中学の卒業作文に食糧問題を書いたほどで、この時私には海外雄飛が決心となって固まっていた。

インド発見

世界的恐慌
大正末から昭和の初めにかけて第一次世界大戦後の世界的経済恐慌に巻き込まれ、国内の不況は全くひどいものだった。失業者は巷(ちまた)にあふれていた。ところが、狭い国土には年々二百万人近い人口が増え続けるという状態で、まさに、同胞相喰(は)むともいうべき、深刻な世相であった。当時はマレーサスの「人口論」が

海外に出るのだった。その土地に永住し、その土地の人々に何かをしてやらなければならぬというのが、私の考えであった。また、そのころは大陸進出や南進論がやかましかったが、そこに一旗組や侵略のおいがしてならなかった。私は、アジアとヨーロッパの文明の接点であり、古い文明と歴史をもつインドにそこが在るようになっていた。インドに渡ると

したら、歯科医となつて彼の地の人々のためにやろうという計画が、いつのまにかできてしまっていた。
マレーサスの「人口論」が、少年の私にインドを発見させ、私を歯科医にしたといつてよい。
英国植民地で無試験開業が許可されるという特典があるのは、日本歯科医学専門学校(日本歯科医大)だけだったから、私はためらわずこの学校を選んだ。

(町政ミニ通信)

- 十月十六日 午後五時半 秋田市 男鹿南秋地域救急医療懇談会 保健衛生課
- 十月十七日 午前十時 広域体育館 老人福祉大会 社会福祉協議会
- 十月十八日 午後一時半 町民センター ママさんコーラス練習社会教育課
- 十月十九日 午前九時 第十六回五城目・上小阿仁駅伝 社会教育課
- 広域体育館前スタート・ヒト阿
- 十月二十日 午後一時 仁村役場前がゴールとなる。
- 十月二十日 午後一時 県町村会総務委員会と県部課長との行政連絡会議
- 十月二十日午後一時町民センター 教育委員会 学校教育課
- 十月二十日(二十一日) 林業振興地域育成成対策事業 林野庁から担当者来町
- 十月二十一日午後一時広域体育館 一歳六カ月児検診 保健衛生課
- 十月二十一日 午後二時 町民センター 県道真坂五城目線整備促進期成同盟会総会 建設課
- 十月二十二日午前十時広域体育館 乳児健康相談 保健衛生課
- 十月二十三日午後一時広域体育館 母親学級 保健衛生課
- 全県母子寡婦福祉大会 社協
- 十月十七日 栃木県 体育指導委員視察研修 社教
- 十月二十三日午後三時高千公民館 前知事小畑勇二郎氏来町
- 十月二十四日午前十時第一会議室 農委定例総会 農業委員会
- 十月二十五日 午前十一時 八郎瀧周辺保健体育施設組合議
- 十月二十五日 午前十時半 アキタPAH 町村長協議会
- 十月二十八日 午後二時 土木行政懇談会 建設課
- 十月二十八日 午前九時 秋田市 家庭料理自主学級移動研修 社教
- 十月三十日 午前九時 危険物積載車輻路上検査 消防署
- 十月三十一日(十一月四日) 第五回産業文化祭 町C 広体
- 十月三十一日午後三時第一会議室 工事入札 農政課・電業課



力強いスタートをする選手のみなさん

町内対抗総合体育大会 (水泳の部)

成績一覧 9.23 屋内温水プール

順位	町内名	タイム 分秒	順位	町内名	タイム 分秒
1	畑町	1.19.09	20	樋口	1.48.70
2	下山内	1.26.06	21	高千	1.52.11
3	古川町	1.27.09	22	田町	1.57.00
4	川原町	1.30.09	23	浦横町	1.59.98
5	新畑町	1.30.07	24	黒土	2.15.05
6	築地町	1.31.05	個人 小学生の部		
7	町村	1.31.06	1	三浦修	17.4
8	平ノ下	1.34.07	2	小玉直樹	19.00
9	西野	1.35.04	3	畠山基章	19.03
10	下高崎	1.36.07	4	渡辺正伸	19.20
11	上高崎	1.37.03	5	伊藤磨美	20.10
12	中村	1.38.05	6	佐藤智子	20.90
13	湯の又	1.38.55	中学生の部		
14	岡本二区	1.40.04	1	石井純	15.80
15	帝釈寺	1.40.04	2	伊藤英	16.25
16	富田	1.41.00	3	金野東	17.04
17	紀久栄町	1.41.03	4	小林ふき子	17.26
18	蓬内台	1.46.09	5	河内信彦	17.60
19	上山内	1.47.39	6	佐藤美保子	19.20
個人 20代の部			1	石川靖	15.00
			2	猿田隆一	16.25
			3	草皆憲一	16.40
			4	千田芳幸	16.47
			30代の部		
			1	小林誠	13.79
			2	畑沢義則	14.40
			3	久保市典	14.71
			4	佐々木義男	18.00
			5	小熊隆一	18.01
			9	伊藤国三	19.60
			40代の部		
			1	畠山啓作	16.01
			2	千田哲男	16.50
			3	三浦正	17.00
			4	館岡敏雄	17.00
			5	小熊秀勝	17.04
			6	秋山三男	17.10
			7	湊春亀	17.04

初の全町水泳大会

畑町チーム優勝

九月二十三日、町内対抗総合水泳の部で、初の全町大会が温水プールで開かれた。

選で黒土チームの最終泳者は石井四郎さんであった。若いころ川で覚えた泳法で挑戦した。川の流れ

結局、予選でトップタイムをあげた畑町チームは、決勝にのぞんだ六チームをおさえ完勝であった。

石井さん拍手に励まされて

初の大会のことで、いろいろなハプニングもあった。リレーの予



とゴールの水ではどうしても泳ぐリズムも狂ってしまふ。力泳すれどもその距離縮まらず、志なかなにしてプールの底に足をついてしまい、思わず立ってしまった。

スタイルは見事なものであった。プールを造った町の照準がピタリと合う光景であった。

和やかムードの大会

大正二年生まれさつそうと

そしてもう一人、川原町チームに六十七歳の選手がいた。湊春亀さんである。若者たちからみればスピードこそ欠けたが、その泳法

若々しい湊さん

初の大大会が盛会であったことに気をよくした運動公園事務局では「来年度からは、プログラムにも一工夫をして、家族ぐるみ、地域ぐるみで楽しめるような大会にしたい」と語っていた。

当日の成績は次のとおり。

南秋中学秋季体育大会

卓球男子町内同士で決勝

個人優勝は杉沢中佐々木君

南秋中学校秋季体育大会は九月二十六日・二十七日五城目一中体育館など南秋の各会場で行われ、五城目一中が団体で七種目を制覇したほか、杉沢中の佐々木吉夫選手が卓球個人でみごと優勝した。

▽野球準決勝	五城目一中 5-2 天王中
▽同決勝	五城目一中 1-2 八郎潟中 (延長12回)
▽バスケット女子	決勝リーグ
五城目一中 53-42 八郎潟中	
五城目一中 69-35 井川中	
▽バレー女子準決勝	五城目一中 2-0 大潟中
▽同決勝	五一中 2 151-110 0 弘戸中
▽バレー男子準決勝	五城目一中 2-0 羽城中
▽同決勝	井川中 2 151-110 1 五一中
▽庭球男子団体決勝	五城目一中 0-3 八郎潟中
加藤・石井 0-4 八郎潟	
菅生・佐藤 3-4 八郎潟	
小野・川村 0-4 八郎潟	
▽同個人準決勝	菅生・佐藤 4-3 八郎潟
加藤・島崎 1-4 八郎潟	
▽同個人決勝	菅生・佐藤 0-4 八郎潟

交通指導隊表彰される

五城目町交通指導隊は、九月四日、県教育会館で行われた第七回秋田県交通指導隊大会で表彰された。

これは隊員が一致協力して、街頭における交通指導など交通安全活動を積極的に推進し、地域の交通安全事故防止に努めたことが認められたものである。

11月

● 直接搬入の場合は
前もって焼却場へ
ご連絡ください。
(☎ ② 3 9 5 8)

準備シーズン
ちよつとした油断から
盗まれないように

左やみ

10